



企業名：有限会社ナカシマファーム
所在地：佐賀県嬉野市塩田町大字真崎1488
事業者：中島 大貴
設立：1994年
サイト：<https://www.nakashima-farm.com/>

循環して育まれる、ニューカルチャーを。

伴走支援デザイナー：小林一毅



アイデンティティ/事業を突き動かす内発的動機

牛乳の可能性をもっと多くの方に届けるために。ナカシマファームは酪農に取り組みながら、ミルクはもちろんチーズやコーヒーなどの加工品を手掛け、自分たちで運営する店舗やカフェで販売しています。手掛ける製品の1つであり、日本で初めて製品化に成功した「BROWN CHEESE」は、キャラメルのように甘く、世界チーズコンテスト2019の銅賞をはじめ、さまざまなコンテストでの受賞歴を持つ逸品です。ただの酪農家でも、ただのチーズファクトリーでもないナカシマファーム。その第一歩は、事業者である中島大貴氏が、建築に酪農を掛け合わせるという発想をしたことです。大学で建築を学んだ時期に、自身のルーツでもある酪農は携わりたくても携われない事業であることに気づき、建築に酪農を掛け合わせることを戦略としました。



BROWN CHEESE

ビジョン

酪農を軸とした循環型経済を。ナカシマファームが取り組む事業は、自分たちの水田で牧草を作り、その牧草で牛を育て、牛の糞や尿を堆肥にし、水田に還元するという。その過程の中で採れたミルクを、チーズやコーヒーなどさまざまな商品に加工し、お客様に届けています。この中心にある理念、そしてビジョンが「ニューカルチャー」。酪農を通して持続可能な仕組みを整え、新しい選択肢や文化を生み出しています。

強みや特徴

生産、加工、販売までを一社完結で行う六次産業を自社で展開しています。酪農家として3代目、会社経営者として2代目の中島氏を中心として約20名のスタッフが関わり、自分たちでクオリティを管理していることが強みです。BROWN CHEESEやできたてのモッツァレラ、MILK BREWなど画期的な新製品を生み出す体制と工房などの設備もナカシマファームの特徴です。



MILK BREWのフラグシップカフェ

経営課題

現在の家族経営の体制を最大に活用しながら新しい文化を作り、次のステージへ進み、見たことがない風景を作りたい。このように考えるようになったのは、佐賀嬉野でMILK BREWのフラッグシップカフェをオープンさせたタイミングでした。同時に事業承継の時期でもあり、「家族で経営や事業を展開する」意識から「多くの方を巻き込んでチームとして働く」意識へ、イメージを切り替えたといえます。実は家族で働くことが好きではなかったと語る中島氏は、家族経営ではなかなか建設的な話し合いができないと感じつつ、色々取り組むうちに気づいたことがあったそうです。やりたいことを話し合っ**てぶつかり合うのではなく、ひとまず必要なものを作ってみる。デザイン**の力を語るのではなく、**デザイン**の可能性をアウトプットした上で**お互いの目線を合わせる**ことが、ナカシマファームにとって重要でした。中島氏は「人が変わる時**って、自然になんとなく変わっているもの**なんですよ」と語ります。

デザイン経営での解決策

最初に中島氏が取り組んだのは花壇づくり。ただ花壇を作るのではなく、花壇のふちに腰を掛けることが出来るよう設計し、作業をしている方が休憩しつつ風景を楽しめるようにデザインしたと言います。そして、そのことを家族には説明するのではなく**体験して気づいてもらい、自然になんとなく変わることを意識**したそうです。また、さまざまなナカシマファームの取り組みや発信を**デザイン**の力で支える、デザイナーの小林一毅氏は、BROWN CHEESEを製品化して海外のコンテストに出品する時期から携わり、**デザイン**の力で商品の付加価値を高めてきました。「**普段の何気ないやり取りが勉強になり、デザイナーの思考を学ぶ**ことができます」と中島氏。自身で**デザイン**することが出来るにも関わらず、逆に自身が理解できない**デザイン**案を採用することで、小林氏の**デザイン**が生み出す**見たことのない風景**と出会うことができました。

アウトプット



統一感ある商品パッケージ



MILK BREWのパッケージデザイン

これから

近年、コーヒー業界でトレンドになっている「ミルクブリュー」。まだミルクブリュー自体がマイナーだった頃、福岡平尾の「Manly Coffee」の力を借りてミルクの可能性を活かすことが出来る抽出方法を開発。現在、商標を取得し、ミルクブリューを製品としてではなく、プラットフォームとして捉えて展開しています。もっとミルクの新たな可能性に気づいてもらい、これからも佐賀嬉野から「**ニューカルチャー**」を発信していきます。